

第4回 矢板市庁舎整備基本計画策定検討委員会 会議録

会議名	第4回 矢板市庁舎整備基本計画策定検討委員会
開催日時	令和8年8月26日（水）午後6時～午後7時30分
開催場所	矢板市文化スポーツ複合施設 研修室1
出席者	【委員】 佐藤 栄治、田城 国久、沼野 晋一、佐野 幸隆、東泉 清寿、磯 英明、 藤田 美幸、花塚 竜大、須藤 賀津雄、萩野 司 （オンライン出席）大塚 孝徳、手塚 正之 【事務局】 財政課管財庁舎整備室 株式会社フケタ設計
凡例	矢板市庁舎整備基本計画策定検討委員会 委員長：（委員長） 委員：（委） 財政課管財庁舎整備室 事務局：（事）
議題	1 視察報告について 2 建設場所の選定について 3 その他
内容	1 開会 2 委員長あいさつ 本日の議題は、建設場所の選定について詳しい説明となります。皆様からご意見頂きながら進めていきたいと思ひます。旨挨拶があつた。 3 議題 （1）視察報告について 事務局より、壬生町役場・栃木市役所視察資料に基づいて報告を行つた。 <質疑等> ・壬生町役場が良いと感じた。懸念事項として、2箇所とも電気代の増加、ランニングコストの負担を感じた。もう一つは、避難所として役所を想定していないため備品倉庫が少ないと感じた。（委） →矢板市も本庁舎は避難所にはなっていない。こども未来館や主な避難所に防災倉庫を併設している。（事） ・栃木市の人口は15万人、矢板市の5倍。予算も同様に栃木市の方があつた中で、50億円で庁舎を建てた。借金をせずに庁舎を作つたのが素

晴らしいと感じた。既存の建物を使っている為、不便な点はあると思うが、借金をしなければその分税収を市民のために使える。壬生町役場は、旧壬生町から今の場所に移転しており、郊外に建てたものの、市民が困ることは無いように感じた。駐車場は市民の為の駐車場で、職員は4～500m先の駐車場から歩いてきている。議員の車両は市民駐車場の北側の端に停めていると聞いた。町会議員の申し合わせで、一般市民の邪魔にならないようにしていると聞き、素晴らしいと感じた。（委）
→壬生町は北・南で市街地が割れている。その為中心の公有地を使ったとのこと。（委員長）

・栃木市庁舎は中央にエスカレーターがあり使いやすいと感じた。1階で買い物ができる点もいいと思ったが、矢板市に置き換えると難しい。壬生町役場は旧壬生町から離れてしまうことで使いにくくなってしまうのではないかなと思ったが、今までの場所が水没危険地域ということもあり、町民の皆様を受け入れられたような印象がある。（委）

（2）建設場所の選定について

事務局より、資料に基づいて矢板市小中学校適正規模・適正配置計画の説明を行った。

第2回検討委員会で、矢板小学校を活用したほうが良いのではないかなという委員からの提案を基に、資料作成を行った。場所を確定するのではなく、選定の考え方について共通認識を持っていただくことを目標とする。

<質疑等>

・私は前回の矢板市新庁舎整備検討委員会にも出席していたが、その際に駐車場は矢板市職員が250人なので、300台の駐車場を作ると聞いた。議員は出入口により近いところに停めると聞きおかしいと感じた。前回委員会は2つの場所に絞り終了したが、場所ではなく根本的な問題として、前回委員会では60億程度の予算で考えていたが、今は建設資材が高騰している。さらに、先日矢板市で生まれた子供は6人、その前の月も6人、このままいけば1年で100人。100歳まで生きても1万人。矢板市現人口3万人ベースで考えるのは問題ではないか。矢板市の財源と照らし合わせても今の計画はおかしいのではないかなと感じた。（委）

→計画というのは具体的には建物の規模のことか。（委員長）

→私は前回委員会で20億程度の規模でやるべきだと言ったが、皆さんからは100年残る・シンボルとなる庁舎にしようとの意見が多かったと記憶している。それも悪くはないが、建物が100年持っても、矢板市が100年持つのかと考えている。（委）

→難しい話だが、何も対策をしなければそうだと思う。人口はどんどん減っている。（委員長）

・最終的に2箇所の候補地となり、現市役所跡地に建てることになる予想はしているが、最近千葉市で水害があったように、想定外の被害が起きるような状況で、現市役所の水没危険地域に新庁舎を作ってしまうのか。前回会議でも出たが、建設地域を決定する際、点数付けの配分がおかしいという意見があった。今の状況の中で、点数で決めたいのなら配分の仕方などもう一度考え直す必要がある。また、建物の金額は自己資金の4倍までと言っていた。矢板市の基金は今7億円しかない。建てられる規模は28億円という計算になる。それで60億の建物の計画を立てていることの意味が分からない。できないものの議論をしてどうするのか。（委）

・矢板市では今まで小中学校を建てては壊すことを繰り返してきており、税金を無駄に使ってきた。しかし、誰一人責任を取った人はいない。将来何が起こるかわからないからとはいえ、60～80億もする借金を作り矢板市に建物を建てて、それで矢板市に人が住むようになると思うか。市民に良いサービスができるようになるとは全く思わない。（委）

・片岡小学校は片岡中学校と統合し、小中一貫校にする計画があるのか。それであれば、矢板小学校も矢板中学校と統合することはできないのか。（委）

→片岡小中学校の一貫教育体制と、教育一貫校とは異なる考え方となり、一貫教育体制とは小中学校の教育内容を連動させる考え方で、学校は統合しない。（事）

→塩谷町は小中学校を一つにまとめている。そういったことも踏まえれば、候補地として矢板小学校は考えられると思った。（委）

・前回会議で矢板小学校という意見が出たことは聞いていたので、使えるものは使っていくのが良いと思った。今、矢板東小学校を47億円で作っているが、話を聞くとほとんど借金とのこと。尚且つ今度は60～80億の庁舎を建てようとしている。それは無責任ではないか。（委）

・事務局に聞きたいが、壬生町の基本構想で算定された面積は調べることができるか。構想の段階では、基準に基づいて規模を出すしかない。

50～100年後の推計を入れ込むことができない計算式になっている。基本計画でも基本的には踏襲するが、建てる段階になった時に実際の予算に合わせて減額していく。（委員長）

→国交省の算定基準に基づいている。（事）

→構想の段階では算定基準は同じものを使うしかない。現況地のm2単価で予算が決まってくる。実際建てる時は要素を削り小規模化は可能。他の都道府県でも同じような算定を行っている。（委員長）

→壬生町役場は駐車場114台、公用車用33台とある。矢板の計画は300台。基準は分かるが、事務局に基本的な節約の考えが無かったのではないか。矢板市の予算を1億円ずつ積み増すとのことだが、工事費は人件費だけで4%上がっている。60億円で5%上がったら3億円。いつになっても到達しない。将来の為になるための議論をしないといけないと根本的に思う。（委）

→根本的な考えに行き着く先というのは、大胆に縮小するという案か。イメージは何かあるか。（委員長）

→矢板小学校という意見が出たので、あるものを使っていく現実的な考え方。我々や事務局がここで議論しても、最終的にはトップと議会と執行部で決定する。現実的な考えを上の人が持ってもらわなければだめなのではないか。（委）

・今の矢板市役所はI s値0.3。ここで働かせることは大問題。色々と問題はあるが、そんな建物の中で働く人たちのことを考えなくてはならない。それを踏まえて議論しなくてはならない。（委）

・この先この委員会をどうやって進めていくかと考えたときに、選択肢がいくつかある。案としては、検討委員会を一度止めて、教育委員会に申し入れをし、先に揉んでもらう。もっと先まで学校の使い方を考えて、そこで空く建物が出るのかどうか。20～30年先まで考えたときに使えそうな建物が出るならそこに庁舎を移設するという考えもある。ただ、申し入れの分期間は伸びる。伸びたときに、現庁舎の耐震の話が絡んでくる。矢板市役所は県内でも有数の耐震力が足りない建物となっており、そのせめぎ合いがある。長く議論できるのであれば、着地できるまで議論するべきだと思うが、一方で急がなくてはいけない理由もある。事務局としてはどう考えるか。（委員長）

→基本計画策定として皆様をお願いしている背景としては、基本構想の中で、矢板市のまちづくり上位計画を基に検討委員会を通して策定してきた。それが市民から認められたものだというのが事務局としての考え方。基本計画策定するにあたり、財源の問題は皆様からご意見を頂いて

いるところではある。これまで矢板市は乗り遅れてしまったが、災害に対して国からの支援が時限的にあったこともあり、そういった国の制度ができた時に乗り遅れないように事前に準備を進めておきたいため、基本計画策定までは進めていきたい。（事）

→基本計画は止めずに先に計画を立てたいという意向か。（委員長）

→構想に基づいて計画を策定していきたいというのが事務局としての考え方。（事）

→それは間違いだと思う。一度止まって執行部がこの案をどうするかを決めるべき。私は建設に反対しているわけではない。現実的に考えて身の丈に合ったようなものを速やかに作るべきだと思う。今の事務局のように辻褄を合わせるようなやり方だと、無駄な議論になってしまうのではないか。一度止めて執行部に返して、この大事な議論をやってもらいたい。（委）

→事務局の方で、「市民に認められた」と言っていたが、私は前回委員会に入っていなかったので、候補地が2箇所に絞られたことは知らなかったし、一般市民には認知されていないと思う。（委）

→諮問事項の1番目が庁舎と場所の選定、2番目が他施設との複合化、3番目が建物、駐車場、緑地等の規模及び配置、4番目が導入する機能・設備、フロア構成等、5番目が周辺施設との連携、6番目がその他、新庁舎整備に必要な事項…に、回答する委員会です。それらが諮問されているので、先に方針を市の方で決めるということはできない状態。執行部に突き返すことはできない。（委員長）

→突き返せばいい。辻褄合わせのように作っては、次の世代に良い結果にはならない。個人的には矢板小学校も含めて、現実的な話をした方がいいと考える。構想委員会で、現庁舎跡地、こども未来館の2箇所に絞ったらそこから決めてくれというのが議論なのか。（委）

→委員の皆様から意見が出ているので、委員会をストップすることとは別に、一度持ち帰って検討させていただきたい。（事）

→学校の件は一旦持ち帰っていただき、関係各所と協議を頂くということをお願いします。もう一つの議題についてはどうするか。（委員長）

→後日とさせていただきます。（事）

・委員の皆さんの考えを聞きたい。（委）

→（1人目）他の方も言っているように、矢板市役所を古い建物だと感じていた。早く庁舎を作ってほしいと思うが、お金の問題や、跡地に建てると水害が、というところもあり、何とかしなくてはと思うが、何が最適なのかはわからない。場所についても、他の場所は無いのかなと

は思う。（委）

→（２人目）危ない建物で仕事をさせることはあり得ない。限られた予算でどのくらい建てられるのか。今は仮設建物でもかなりレベルが上がっている。矢板市役所で仕事をしている人を安全な建物に移すということが第一だと思う。（委）

→（３人目）事務局の方で提示頂いた２案以外にも、矢板小学校の案も踏まえたほうが、話が進むと思う。（委）

→（４人目）計画が出来てからしか移転ができないのか。仮設庁舎に移動してから計画した方が安全なのかなと思う。ただ、計画途中でも仮設に移動できるのかがわからない。（委）

→例としてはあるかもしれない。被災した建物であればあり得る。（委員長）

→（５人目）基本構想をベースとしてこの委員会が成り立っている以上、それが進められないのなら事務局が判断を仰がないと、次回以降開催できないと思う。（委）

→そうなると思う。一旦持ち帰っていただき判断を頂かないとならない。（委員長）

→事務局の方で道筋を付けていただかないと意見も言えないと思うのでよろしくお願いします。（委）

→（６人目）震度５以上の地震で被災する可能性が高いのであれば、一刻も早い建て替えが必要だと思う。それに合わせた場所選定や規模・金額も含めて考えるべきだと思う。（委）

→（７人目）事務局でもう一回検討していただければ良い。（委）

→（８人目）町づくりをこれからどうしていけば良いかを考えた時に、箱物の時代は終わったと思っている。活気ある街にしたいのならば、移住する人にお金を使うとか、新しいお店を建てたい人に補助を使うとか、企業誘致するための優遇税制にお金を使うとか、使い道はいくらでもある。だからと言って庁舎建設に反対しているわけではない。ある程度新しく、安全基準を満たしている建物を使いながら、できるだけ早めに作った方がいいと思う。（委）

→（９人目）基本構想を基に発展していくと思っていたが、また場所の選定に戻っていくのはどうなのかなとは思っている。パブリックコメントを公表して市民からご意見を頂いて決まったという認識でいたので、選定された２箇所から選び進めるところを、また構想の段階まで戻してしまうのには疑問がある。矢板小学校を使えばもっと安くなるのではないかなという意見があるのは分かるが、総事業費については建物規模で揉んでいけばいいのかなと思う。建物の耐震の問題がある以上、速やかに進めて

いくべき。(委)

→(10人目)早く職員の方と一般市民の方が安全に行けるように庁舎を作っていきたいと思う。(委)

→(11人目)皆さんの意見聞いて進めていきたい。反対意見や批判はない。(委)

→意見がまとまらない時に性急に進めても進まない。現状を踏まえて事務局で整理し直した方がこの先話が早いのかなと思う。大変かもしれないが、この段階でもう一度整理したほうがいいと思う。(委)

委員の皆さんの意見が出そろいましたので、事務局で持ち帰っていただいて、事務局側の意見をまとめてください。その回答が出そろって次回開催となると思います。(委員長)

今作っている矢板東小学校の規模は分かるか。(委)

→今の矢板小学校がそのまま入れる規模ではない。1学年3クラスの18教室(事)

→矢板小学校跡、もしくは一部を使うことができるのは10年後くらいになる気がする。その時まで市役所は持たない。矢板小学校を使うのであれば庁舎の仮設化、または矢板東小学校に仮設校舎が必要になると思う。(委員長)

一旦事務局に持ち帰っていただいて、すぐ回答が出るのであればこの委員会を継続してもいいと思っている。関係各所に伝達、意見を徴収していただいて、構想に注文を付けていいという判断になれば、この委員会でやるかもしれない。諮問書の一番上が場所の選定になるので、場所が決まらなければその先に進めない。どのくらいの規模の建物を建てられるのかが分からない。最終的にどのくらいの規模の建物をどこに建てるのかは基本計画の中で検討しなくてはならない。(委員長)

4 その他
特になし

5 閉会